

鶴岡市総合計画審議会 社会基盤専門委員会（テーマ別討論）

JR 鶴岡駅周辺地区、鶴岡公園周辺地区で予定されている事業について

1 JR 鶴岡駅周辺地区

【現状と課題】 駅前地区遊休地活用

- 人口減少と中心市街地の魅力喪失に対処するため、これまで進めてきた都市機能集積による都市基盤整備を活用した居住者・来街者の増加と賑わい創出につなげる戦略を実施していく。

駅前の遊休地（低未利用地）を活用し、若者世代、単身者世帯、高齢者世帯など多様なニーズに対応した住環境を整備・創出し、中心部への居住促進につなげ活性化を図る必要がある。

【現状と課題】 駅前広場、地下道及び駅北スペース改修（市道鶴岡駅前線、市道鶴岡駅地下道線）

- JR 特急到着時における送迎の自家用車一時停車スペースが不足しており混雑している実態がある。駅前広場のバスロータリー及びタクシープールに自家用車が恒常的に進入していることから、公共交通の安全な運行に支障が生じている。
- 駅前広場と駅北側をつなぐ地下道は薄暗さなどから利用が少なく、駅北スペースは自家用車の無秩序な駐車が横行しており、治安の悪化も懸念されている。

地域の歴史的な中心駅である鶴岡駅周辺は、都市の顔として魅力を高めるとともに、乗り換え利便性を高め、快適かつ安全な空間利用を構築する必要がある。

2 鶴岡公園周辺地区

【現状と課題】 鶴岡公園正面広場整備、公園周辺道路修景、内堀浄化

- 鶴岡公園の入口であり顔である正面広場は、以前は禽舎、猿舎、子供遊具があり賑わいの場となっていたが老朽化等により順次撤去され、現在は閑散としている。
- 公園周辺には2つの高校があり、周辺道路は登下校時に自転車・歩行者の交通量が多いものの、歩車道が分離されておらず自動車の通過交通も多いことから安全な通行空間の確保が求められているとともに、城下町らしさを感じられる修景が望まれている。
- 堀については環境用水の導水や地下水の流入など水質浄化に努めているが、水温が上昇した際や環境用水の流入が無くなる時期は水質が悪化し、藻の発生や異臭を感じる場合がある。

鶴岡城址にふさわしい歴史的な環境と都市機能が調和した憩いと賑わいの場を提供するため、城下町の資源を活かした魅力的な環境整備、景観形成を図る必要がある。

【現状と課題】 シビックコア地区再整備

- 新文化会館「荘銀タクト鶴岡」のイベント等、都市部における大型催事開催時において一時的な道路渋滞や駐車場不足が懸念されている。また、免許返納の高齢者や学生等の交通弱者、観光客の移動手段の一つとして公共交通の果たす役割が高まっている。
- シビックコア地区は、学術文化交流拠点として都市機能集約を図ってきており、国の鶴岡第2地方合同庁舎が事業化決定したことで、よりいっそうの都市機能の集積が実現される。

地方バス等の公共交通において駅前のターミナル機能を補完し、中心部の官庁街、病院、学術文化交流拠点と各主要拠点を結ぶ交通輸送対策（バスハブ機能）を整備し、市民、観光客の回遊を促し、賑わいの創出を生み出す必要がある。